

PRESS RELEASE

新作 ロックバレエ 『GENJI』

2024年9/14(土)・15(日) 大田区民プラザ大ホール

紫式部の「源氏物語」に描かれていなかった重要な場面。

それは、主人公・光源氏の死。

出家してからの動向にまったく触れられていない。

「雲隠」という章立てのみで、本文は一文字も書かれていない。

このタイトルだけで、光源氏の死を暗示している。

光源氏の最期はどのようなものだったのか。

彼は幸せだったのだろうか。

紫式部が描かなかった物語を、1000年の時を経て
オリジナル楽曲とロック音楽を織り交ぜ、舞踊で紡ぐ。

日本のトップバレエダンサーたちが挑む「ROCK BALLET with QUEEN」に続く

ロックバレエシリーズ第2弾！

時空と物語を大胆に越え、身体が交錯し、彷徨い、響振する先にある一筋の光。

“ロック”という言葉は、音楽のジャンルを指すにとどまらない。

常識を「打ち砕く」ような観客の「心を揺さぶる」「最高」の舞台に挑む！

【登場人物】

- 光源氏： 天皇・桐壺帝の2番目の皇子。幼年から美貌と才能に恵まれ「光る君」と呼ばれる。父の正妻・藤壺との間に子供を宿してしまい、一生涯この罪悪感に悩まされる。紫の上の死後、深い喪失感に苛まれ、一年後に出家。姿を消す。
- 頭中將とうのちゆうしょう： 左大臣の長男。光源氏の良きライバルであり唯一の親友。光源氏の義理の兄。光源氏が自主謹慎ため須磨に下ったとき、ただひとり見舞いに訪れる。明るい性格で舞や管弦楽器に優れる。
- 紫の上： 光源氏の正妻。10歳で光源氏に見初められ、半ば誘拐のように強引に入居させられる。長い間夫婦関係は冷え切っていた。出家を望みながらも源氏に認められず、43歳で病死。
- 六条御息所： 夫の東宮と死別。美しく高貴で教養深い。源氏より七歳年上。葵の上に嫌がらせを受けて以降、精神分裂症に苦しむ。のちに娘と伊勢へ下向。光源氏に娘を託して病死する。
- 明石の君： 須磨の地方役人の娘。和歌や音楽に優れる。光源氏の子を産みのちに宮廷にあがる。紫の上とも良好な関係を築く。
- 惟光これみつ： 源氏とは乳兄弟。源氏の君が一番信頼する家来。須磨・明石流浪の間もつき従った腹心。
- 虫宮ほたるのみや： 桐壺帝の第三皇子。源氏の異母弟。

〈演出・振付・出演〉

平山素子／コンテンポラリーダンサー・振付家



5歳よりバレエを始める。若松美黄にモダンダンスを学んだ後、H・アール・カオスに参加。2000年まで北米ツアーなどすべての公演に出演。1999年世界バレエ&モダンダンスコンクールにて金メダルとニジンスキー賞をダブル受賞(モダンダンス部門)。ミュージカルの振付、アーティスティックスイミングやフィギュアスケートの日本代表選手の演技指導にも協力するなど各方面にも活躍の場を広げている。

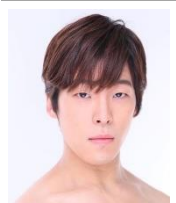
〈出演者〉

【光源氏】 今井智也／谷桃子バレエ団プリンシパル



10歳より出井幹子バレエ教室でバレエを始める。1998年英国ロイヤル・バレエスクール、2000年スクール・オブ・アメリカンバレエに短期留学。1999年サンフランシスコ・バレエスクールに2年間スカラシップ留学。2003年谷桃子バレエ団に入団。2012年文化庁よりオーストラリアバレエ団にて1年間研修。1999年第世界バレエ&モダンダンスコンクール セミファイナル。2003年東京新聞主催全国舞踊コンクール PDD部第2位。

【頭中將】 池本祥真／東京バレエ団プリンシパル



5歳よりバレエをはじめる。2005年から2008年までポリショイ・バレエ学校で学ぶ。2008年に国立バレエ・モスクワにソリストとして入団。2018年東京バレエ団にソリストとして入団し、直後にアシュトン『真夏の夜の夢』バック役で鮮烈デビュー。2015年ファーストソリスト、2024年プリンシパルに昇格。2007年全国バレエコンクール in Nagoya 男子ジュニア部門第1位。2010年ペルミ国際バレエコンクールで金賞受賞。

【紫の上】 奥田花純／新国立劇場バレエ団ソリスト



田中千賀子ジュニアバレエ団で田中千賀子、篠原聖一、下村由理恵に師事する。2007年全国舞踊コンクール・バレエパド・ドゥ部第2位、09年こうべ全国洋舞コンクール・バレエ女性シニアの部第2位。10年に新国立劇場バレエ団に入団。アシュトン『シンデレラ』秋の精、サーブ『イン・ジ・アッパー・ルーム』、『ドン・キホーテ』キトリの友達、第1ヴァリエーション、ビントレー『ファスター』闘うなどを踊り、14年『バゴダの王子』さくら姫役で主演デビュー。14年ソリストに昇格。

【六条御息所】 伝田陽美／東京バレエ団ファーストソリスト



5歳よりバレエを始める。2008年東京バレエ団に入団。09年マラーホフ版『眠れる森の美女』で初舞台を踏む。主なレパートリーに『くるみ割り人形』ロシア、花のワルツのソリスト、『ジゼル』ミルタ、ジゼルの友人、ウィリ、『エチュード』、『ドン・ジョヴァンニ』ヴァリエーション5、『ザ・カブキ』おかや、マラーホフ版『眠れる森の美女』ルビー、『ラ・バヤデール』パ・ダクシオン、"影の王国"など主要な役を踊る。

【明石の君】 平山素子／コンテンポラリーダンサー・振付家



5歳よりバレエを始める。若松美黄にモダンダンスを学んだ後、H・アール・カオスに参加。2000年まで北米ツアーなどすべての公演に出演。1999年世界バレエ&モダンダンスコンクールにて金メダルとニジンスキー賞をダブル受賞(モダンダンス部門)。ミュージカルの振付、アーティスティックスイミングやフィギュアスケートの日本代表選手の演技指導にも協力するなど各方面にも活躍の場を広げている。

【惟光／明石の漁師】 伊坂文月／K-BALLET TOKYO・ゲストアーティスト



2002年香港バレエ団に入団しソリストとして活躍。07年カナダのバレエ・ヨーガンにプリンシパルとして入団。09年2月Kバレエカンパニーにファースト・アーティストとして入団。同年11月ソリスト、13年9月ファーストソリスト、16年9月プリンシパル・ソリスト、18年9月プリンシパル・キャラクターに昇格。元Kバレエ・マスター、2022年よりKバレエゲストアーティスト。

【瑠宮／明石の漁師】 吉留 諒／東京シティ・バレエ団プリンシパル



3歳よりRKK学苑にてバレエを始め、2003年より熊本バレエ研究所にて伴征子に師事。05年、熊本バレエ劇場「くるみ割り人形」に出演し、以降葦笛の踊り、タイトルロールなどで毎年出演を重ねる。14年に東京バレエ学校Sクラス生となり、首藤康之、中村恩恵に師事。15年、中国上海市舞蹈学校にて短期研修。その後、熊本バレエ劇場40周年記念公演「眠れる森の美女」にて青い鳥を踊る。16年東京シティ・バレエ団入団。21年4月、ソリストに就任。2022年プリンシパルに昇格。



【主催・制作】 一般社団法人 バレエ芸術推進協会 (BAJ) /ダンサーズサポート

【本件に関するお問合せ先】 バレエ芸術推進協会 代表/石渡 090-4206-8177

<https://balletartsjapan.com/>

e-mail : balletartsjapan@gmail.com